

滋賀県・湖南省友好提携30周年記念事業の実施報告について

1. 記念行事の実施概況

(1) 技術・経済交流団の派遣

友好提携30周年を記念して友好代表団（技術・経済交流団）を湖南省に派遣し、下記事業を実施。

派遣期間：平成25年7月15日（月・祝）～18日（木）

参加者：県内企業（12社16名）、県関係者（知事以下15名）

<実施事業>

- ①杜家毫（と・かこう）湖南省長への表敬訪問 ②環境分野における相互交流推進に関する覚書の調印
③環境関連機関・施設・企業等への訪問、意見交換 ④洞庭湖・びわ湖共同環境セミナーの開催
⑤現地旅行会社への訪問・セールス ⑥歴代技術研修生との交流会（研修生受入機関も参加）

(2) 次世代を担う子どもたちの友好交流の実施

湖南省の子どもや学校関係者を受入れ、学習船「うみのこ」乗船や、「やまのこ」の体験、小学校でのエコ・スクールに参加し、県内の子どもたちと交流しながら環境学習を行った。

また、農村生活体験や琵琶湖博物館などの訪問を通して滋賀県への理解を深めた。

実施時期：平成25年8月6日（火）～11日（日）

来県者：湖南省の小中学生14名、政府・教育関係者6名

(3) 30周年記念行事の開催および各種訪問団の受入

両県省の今後更なる交流の発展を図るため、政府代表団をはじめとする30周年記念訪問団を受入れ、関係者が一堂に会する記念式典、レセプションを開催するとともに、記念植樹を実施。

実施時期：平成25年11月19日（火）、20日（水）

来県者：77名（政府代表団、友好代表団、研修生代表団、一般訪問団、中国駐大阪総領事など）

滋賀県側出席者：知事、議長はじめ友好市関係者、経済団体関係者、企業関係者、国際交流団体等
117名（記念式典）、147名（記念レセプション）

<実施事業>

記念式典（ピアンカ船上）、記念レセプション（天津プリンスホテル）、

記念植樹（滋賀県立近江富士花緑公園）※知事、省長はじめ関係者、有志参加者約100名

(4) 友好提携30周年記念誌の編纂

これまでの交流の歴史を振り返るとともに、30周年記念事業の実績をまとめた交流記念誌を編纂。

2. 成果・今後の取り組み

●環境分野での県内企業の事業展開の推進

技術・経済交流団の派遣や30周年の記念行事で、両県省のトップが環境分野における相互交流を更に推進することで合意。汚水プロジェクトなどの環境プロジェクトに協力するとともに、この関係を活用して、県内企業の事業展開につなげる。

●環境学習をテーマとした教育旅行の誘致

子どもたちの交流事業において、湖南省の学校関係者が、環境教育の舞台として、滋賀県を高く評価。現地旅行会社の幹部からも、訪日教育旅行の商品として検討するとのコメントもいただいております。今後も湖南省や中国の関係機関等を通じて、教育旅行の誘致に取り組む。

●湖南省からの技術研修生の活用

30周年を機に、滋賀県で学んだ研修生のネットワークができた。環境をはじめ経済、観光分野で活躍する者も多く、これらの人材の活用を積極的に行う。